

Cisco Ultra Services Framework Element Managerの安全でないデフォルトアカウント情報に関する脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20170607-usf6	CVE-2017-6692
	初公開日 : 2017-06-07 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 6.3	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCvd85710	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Ultra Services Framework Element Managerの脆弱性により、認証されたりモートの攻撃者が *root* ユーザの権限を使用してデバイスにログインできる可能性があります。

この脆弱性は、デフォルトの静的パスワードを持つユーザアカウントに起因します。攻撃者は、このデフォルトアカウントを使用して該当システムに接続することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者はデフォルトのクレデンシャルでログインし、基盤となるオペレーティングシステムを制御できるようになります。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170607-usf6>

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、Cisco Ultra Services Framework Element Managerに影響します。該当するソフトウェアリリースの詳細については、このアドバイザリの冒頭に記載されているCisco Bug IDを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

修正済みソフトウェア リリースの詳細については、本アドバイザリ上部の Cisco Bug ID を参照ください。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[シスコのセキュリティアドバイザリおよびアラート (Cisco Security Advisories and Alerts)] ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170607-usf6>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	-	Final	2017年6月7日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したり

する権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。